

## 用語集

### A～Z

---

#### NPO (エヌ・ピー・オー)

Non-Profit Organization. 民間非営利団体のこと。営利を目的とせず、公益のために活動する民間団体の総称。

### あ行

---

#### ウェルネス [wellness]

健康。特に、単なる身体的な健康だけでなく、精神的・情緒的など生活のすべての面で健康である状態。また、そういう状態の実現をめざす実践的な生活行動。

#### エコツーリズム [ecotourism]

一般には、自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につなげていくことを目指した観光のこと。

沖縄県では、①自然・歴史・文化の適切な保全と持続的な活用、②地域の活性化、③訪問者が適切な案内を受けて地域の自然・歴史・文化とふれあう活動の3つの要素を満たす観光をエコツーリズムの考え方に掲げ推進している。

#### オープンスペース [open space]

公園・広場・河川・農地など、建物によって覆われていない土地あるいは空地を総称している。

### 沖縄21世紀ビジョン

県民の参画と協働のもとに、将来（概ね2030年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにするために平成22年3月に作成された基本構想。沖縄県として初めて策定した長期構想で、沖縄の将来像の実現を図る県民一体となった取り組みや、これからの県政運営の基本的な指針となるものである。この基本構想を元に、平成24年度から平成33年度までの20か年を計画期間とする基本計画（21世紀ビジョン基本計画）と、平成24年度から平成28年度までの5か年を計画期間とする実施計画（21世紀ビジョン実施計画）が作成された。

### か行

---

#### 河川整備率

5年から10年に一度程度発生する規模の降雨について、河川における洪水の氾濫の防御が必要な区域に対し、防御されている区域の割合。

#### 既成市街地

一般には、都市において、道路が整備され建物が連担するなど、すでに市街地が形成されている地域。都市計画法において、明確に定義されている。（→参考：人口集中地区）

## 区域区分制度

無秩序な市街化を防止し、計画的に市街化を進めるために、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域とに区分して定めること。これを「区域区分」といい、いわゆる「線引き」と呼ばれる。これまでは都市計画の前提としてすべての都市計画区域において行う必要があったが、法改正により制度メニューのひとつとして区域区分の有無を沖縄県が選択可能となった。

## クルーズ船

乗客に船旅（クルーズ）を提供する旅客船のこと。平成 23 年度にクルーズ船を利用して来沖した外国人観光客数は 118,900 人で、全外国人観光客数 301,400 人の約 4 割を占めている。また、平成 23 年度に寄港したクルーズ船のうち約 9 割が台湾からの定期クルーズとなっているが、今後は中国などからの寄港増加が期待される。

## 景観行政団体

景観法に基づく景観施策を実施する地方公共団体のこと。平成 24 年 5 月 1 日現在、県内では沖縄県及び 19 市町村が位置付けられている。

## 景観計画

地域の良好な景観の形成に向け、景観行政団体が策定する計画。景観形成に関する基本方針や区域等が記載されている。平成 24 年 5 月 1 日現在、県内 9 市町村で策定されている。

## 下水道

主に市街地において下水を処理する施設。排水管、排水渠その他の排水施設、処理施設及びポンプ施設等の補完施設の総体をいう。集落排水施設や合併処理浄化槽等の生活排水事業と連携し、地域にあった処理方式により整備が進められる。

## 広域都市計画区域

複数の市町村でひとつの都市計画区域を構成している区域。平成 28 年 4 月現在、県内 7 都市計画区域のうち、那覇市を中心とする那覇広域都市計画区域（11 市町村）、沖縄市を中心とする中部広域都市計画区域（5 市町村）が広域都市計画区域である。

## 国際流通・貢献拠点

アジア・太平洋地域の平和と持続的発展への貢献を目指し、学術、文化、平和、人材育成などの幅広い分野における国際交流や貢献活動の拠点。

## コミュニティバス [community bus]

公共交通が不便な地域などで、高齢者や体の不自由な方にも安全で利用しやすく、地域住民の多様なニーズにきめ細かく対応する地域密着型のバスのこと。市町村が運行する一般路線がコミュニティバス路線となることもある。

## さ行

### 再生可能エネルギー

化石燃料以外のエネルギー源のうち継続的に利用することができるものを活用したエネルギーであり、太陽エネルギー、風力エネルギー、バイオマスエネルギー、水力エネルギー、海洋エネルギー等のこと。化石燃料（石油、石炭、天然ガスなど）やウランなどの鉱物資源を利用するものは「枯渇性エネルギー」という。

### 市街化区域・市街化調整区域

都市計画区域内で、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域を「市街化区域」といい、一方、市街化を抑制すべき区域を「市街化調整区域」という。

### 市町村の都市計画に関する基本的な方針（マスタープラン）

市町村が創意工夫のもと、住民意見を反映させ将来ビジョンを確立し、地域ごとの将来像など、都市計画法第18条の2に基づき定める方針。市町村が定める都市計画は、この方針に即しなければならない。

### 社会資本

道路や公園、下水道、教育施設等の公的基盤施設。

### 住区基幹公園

住民の生活行動圏域によって配置される比較的小規模な公園で、都市計画で位置づけられた、街区公園、近隣公園及び

地区公園が含まれる。

### 循環型社会

生産から流通、消費、廃棄に至るまでの物質の効率的な利用やリサイクルを進めることにより、資源の消費が抑制され、環境への負荷が少ない社会のこと。

### 世界遺産

1972年にユネスコ総会において採択された条約で、締結国は世界156ヶ国にも及ぶ。文化・自然遺産を人類全体のための世界の遺産として保護、保存し、国際協力で援助の体制を確立することを目的としている。

## た行

### 多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らし等との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息環境や多様な河川景観を保全・創出するために河川整備や維持管理を行うこと。全ての河川における基本的な方針であり、国場川、比謝川をはじめ県内各地で多自然川づくりが進められている。

### 地区計画

建築物の建築形態、公共施設その他の施設の配置からみて、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の各街区を整備し、及び保全するための詳細な計画。住民意識の高まりに対応し、昭和55年に創設された制度。

## 鉄軌道を含む新たな公共交通システム

県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞緩和、低炭素社会の実現、県土の均衡ある発展を支える「骨格性」、「速達性」、「定時性」等の機能を備えた大量輸送が可能な公共交通システムのこと。沖縄県では、既存の道路空間やバス機能を活用した基幹バスシステムの導入等により、公共交通の利用環境の改善を図りつつ、鉄軌道等の導入に向けた取組を推進することとしている。

## 透水性舗装

雨水を地下に浸透させ、流出を防ぐ、水を通す舗装。

## 特定用途制限地域

用途地域が定められていない土地の区域(市街化調整区域を除く)内において、その良好な環境の形成または保持のため当該地域の特性に応じて合理的な土地利用が行われるよう、制限すべき特定の建築物等の用途の概要を定める地域。

## 都市化社会

都市への人口や産業等初機能が集中し、それに伴い市街地が拡大していく社会。

## 都市型社会

市街地を拡大していくのではなく、これまで年に整備された社会資本を最大限活用し、安定・成熟した都市環境が形成された社会。

## 都市機能

文化、教育、保健・医療・福祉、商業、工業などのサービスを提供する機能や住居機能のこと。

## 都市計画区域

都市計画法その他関係法令の適用を受けべき土地の区域で、市町村の中心市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などの現状・推移を勘案し、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全する必要がある区域。

## 都市計画マスタープラン（都市計画区域の整備、開発及び保全の方針）

県や市町村による都市計画の基本方針の総称。県が策定する都市計画区域の整備、開発及び保全の方針を「都市計画区域マスタープラン」といい、市町村が策定する都市計画の基本方針を「市町村マスタープラン」という。

## 都市公園等

都市公園法に基づいて供用する公園。都市計画決定された公園以外の公園も含む。

## 都市構造

人や産業が集中する拠点の位置と、主要な人や物の流れによって形成されるネットワーク等から捉えた都市の骨格のこと。

## 都市的土地利用

都市生活または都市活動を営む都市的な土地の使いみちのこと。

## な行

---

### ネットワーク [Network]

具体的な交通路線網の中から、細部路線を省いて抽象化した路線網を描いたものを指す。一般にネットワークは交点と路線区間の集合として表現でき、交点をノード、線をリンクを呼んでいる。ノードはいくつかのリンクに結びついており、リンクは必ず両端でノードに繋がる。

### ノーマライゼーション

#### [normalization]

障害を持っている人も、家庭や地域と一緒に生活ができるようにする社会づくりのこと。

## は行

---

### バリアフリー

障害者や高齢者等が生活する上で妨げになる物理的、精神的な障壁を取り去った障害者や高齢者等にやさしい空間のあり方。

### 万国津梁

「世界の架け橋」のこと。1458年に尚泰久(しょうたいきゅう)王の命で鑄造され、首里城正殿にかけられたと伝えられる「旧首里城正殿鐘」の銘文に「万国津梁」の文字がある。

### 風致地区

都市の自然的景観を維持するため、都市計画法によって定められる地域地区の一つ。指定された地区内では、建造物の高さや建ぺい率の制限などの規制を受ける。県内では、那覇市(2地区)、名護市

(4地区)、うるま市及び南城市において指定されている。

### ブルー・ツーリズム [blue tourism]

離島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実したマリンライフの体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる体験型観光や余暇活動のこと。

### プロムナード [promenade]

歩行者用の公共空間で、散歩、回遊することができる空間。「有歩廊」ともいう。

### ポケットパーク [pocket park]

「ベストポケットパーク: vest pocket park」の略で、チョッキのポケットほどの公園という意味である。わずかなスペースを利用して都市環境を改善しようとするものである。最近では、密集した住宅地の中に設けられた小公園をポケットパークをいうことも多い。

## や行

---

### ユニバーサルデザイン

#### [universal design]

障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のこと。

### 用途地域

都市における住居、商業、工業などの適切な配置による機能的な都市活動の確保を目的として、建築物の用途、容積率、建ぺい率、高さなどを規制・誘導する都市計画・建築規制制度のこと。